



桜丘まちづくりニュース

N09 平成22年7月

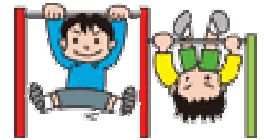
—快適に住み続けられるまちづくり— 発行：NPO世田谷桜丘まちづくり

～ 桜丘まちづくり発足22年、NPOで7年目へ～

桜丘2丁目の都営住宅の建て替えをきっかけに平成元年に始まった桜丘のまちづくり活動も、22年目を迎えました。その間、活動を通じて、「真のまちづくりは人づくりから」「人づくりは地元を愛する心をはぐくむことから」をモットーに活動を続けています。「この町、この人」の田中律子さんも、述べているように、胸を張って地元と言えるような街にするため、**次代を担う子どもたちは、私たち街の財産**であり、地域ぐるみで子どもたちを育てるようなまちづくり活動を続けています。このような活動に協力いただける協力会員を募集しています。まちづくり基金へのご寄付もお願いいたします。

1. 平成21年度事業の決算

- *【文化活動】 シャンソンコンサート、グリーンカアンサンブルコンサート、まちづくり音楽祭、ペナントギャラリー、絵画コンクール
- *【リサイクル活動】 古布・古着の回収、ペットボトルの回収
- *【子どもまちづくり】 おかしの森と手作り講座、ウォーキングラリー
- *【高齢者支援】 桜丘助け合い隊によるお手伝い
- *収入は会員の会費、世田谷区からの補助金、コミュニティサロンでの寄付金等が主なものです。
- *支出はコンサートなどイベントに係わる費用と賃借料が主なものです。



2. 平成22年度事業計画および収支予算

- *平成21年度の事業を継続します。文化育成事業としては、ジャズコンサート（6月）やオペラ「魔笛」の上演を計画しています。また子どもまちづくりの催しにも力を入れていきます。
- *「東京都商店街パワーアップ基金事業」を推進し、買い物のお手伝いや、お子様の一時預かりなど、お買い物がしやすい商店街商店街づくりなど、商店街の活性化に協力していきます。
- *世田谷区からの助成金は22年度から大幅に削減されますが、パワーアップ基金やコミュニティサロンでの皆様からの協力金で収支のバランスを取るよう努めていきます。
- *当NPOは会員および賛助会員からの会費収入と皆様からの協力金で成り立っています。

NPO世田谷桜丘まちづくりのホームページをリニューアル

NPO世田谷桜丘のホームページの内容・デザインを一新し、4月1日からインターネット上で見るできるようになりました。当NPOの歩みや取り組んでいる事業の内容などをご覧いただけると同時に、様々な情報をタイムリーにお届けするコーナーを設けています。主な内容は次の通りです。



- ◎イベント情報コーナー：過去のイベント報告やこれから催される企画の情報をお知らせします。
- ◎リサイクル品のコーナー：皆さんから提供されるリサイクル品の一部を写真付きで紹介します。また、こんなものが欲しいというご希望もお載せします。
- ◎さくらがおかキッズのコーナー：子どもまちづくりの情報や子どもたちの作品等を紹介します。
- ◎桜丘まちクイズ：桜丘のまちに係わる歴史や名所などをクイズでお楽しみいただけます。

その他に各種イベントの申し込みや「助け合い隊」のご利用等もインターネットを通じて行うことができます。NPOへの理解を深め、身近に感じていただくために、新しいホームページをぜひご利用ください。

ホームページアドレス：<http://npo-skr.sakura.ne.jp/>

桜丘のニュース

桜丘のおばあちゃん”北林 谷栄さん”ご逝去

日本の名女優、北林 谷栄さん（98歳）が4月27日、肺炎で亡くなられました。北林さんは桜丘に永い間住んでおられて、商店街をしゃれた格好でさっそうと歩いておられた在りし日の姿を多くの方が目にされておられることと思います。



明治44年、東京銀座の生まれ。昭和9年から新劇の世界に入られて、戦後22年には宇野重吉、滝沢修等と民衆芸術劇場（第1次民芸）の結成に参加。

25年には劇団民芸（第2次民芸）に加わり、いくつもの名舞台上で活躍の場を広げてこられました。また、25年には映画にも初出演、「破戒」「ビルマの豎琴」

「キクとイサム」「にあんちゃん」などで、個性的なおばあちゃん役としての評価を高め、日本アカデミー賞はじめ多くの芸術賞を受賞、昭和53年には紫綬褒章も受章されています。

千歳船橋周辺では昨年11月に亡くなられた森繁久弥さんに続いて二人の名優を失いました。

（ご子息の奥様、まり子さんのお話）

「母は喫茶店でお茶を飲むのが好きで、特定のお店ではなく、出かけて行ってはその日によってあちこちのお店でお茶を楽しんでいました。また、散歩がてらによく郵便局に手紙を出しに行ったりしていたので、そんな折に皆様のお目に触れていたのではないかと思います」

なお、お別れの会は7月11日午後2時から渋谷区千駄ヶ谷5-24-1紀伊国屋サザンシアターで行われます。

商店街に七夕の飾りつけ

6月24日に千歳船橋駅南側、参商会商店街入り口ほか2箇所合計4本の笹飾りの飾り付けを行いました。地域のお子さまたちがそれぞれの夢を短冊に託して笹の葉に彩を添えてくれました。折から、ワールドカップ参加の日本チームを応援する短冊や、商店街の皆さんからは商売繁盛を祈念する短冊など、色とりどりの飾りを見上げて足を止める買い物客の目を楽しませせてくれました。次の商店街での催しとしては、9月にペナントギャラリーを予定しています。地域の幼稚園、小学校の皆さんに書いていただいた絵を商店街のポール(65本)に飾りつけるもので、毎年秋の風物として定着してきました。特にテーマは定めませんので、お子様たちの夢や商店街の様子など何でも結構です。NPOのコミュニティサロンに用紙やカラーペンなどを用意していますのでお立ち寄りください。作品の締め切りは9月10日です。



桜丘まちづくりコンサート

ジャズコンサートの開催

6月12日（土）の16時から「鈴木道子とフレンズ」の皆さんによるジャズライブを行いました。今回は、黒生ビールのCMソングに登場し、ブルージーな歌い方で視聴者を魅了したヴォーカル鈴木道子をお招きして、ピアノ吉田桂一、ベース小杉敏、ドラム村田憲一郎といったメンバーによる本格的なジャズを楽しんでいただきました。ジャズには少し早い時間での開演といったことも関係して



か、お客様は予想より少なかったのですが、来場された方は、リズムに合わせて体をゆするなど、ジャズ独特の雰囲気を楽しんでいました。出演していただいた方々は、御茶ノ水の「ナル」、新宿の「J」、吉祥寺の「サムタイム」などで演奏活動を続けています。機会がありましたら、ぜひ行ってみてください。

【平成 22 年今後の行事予定】 ※日程内容が変更になることもあります

- 7月24・25日：七夕飾り・納涼盆踊り大会
- 9月～：ペナントギャラリー
- 10月23日：ウオーキングラリー
- 10月上旬：稲荷森稲荷神社、宇山神社大祭
- 11月13・14日：区民センター祭り参加
- 11月20日：古布・古着の回収
- 12月19日：オペラ（魔笛）

■子供まちづくりのスケジュール

- 7月 七夕飾り
 - 9月 手作り
 - 10月 絵画
 - 10月 ハロウィン
 - 12月 クリスマス飾り
- 他楽しいことが盛りだくさん



古布・古着の回収にご協力いただきありがとうございました。

5月15日（土）には今年1回目の古布・古着の回収が行われました。天候にも恵まれて、いつもの3か所（桜丘小学校・笹原小学校・宇山神社）に皆様から多くの衣類が持ち込まれ、平成18年に始めて以来、最高の回収量になりました。回収のトラックも2往復してようやく、運び終わることができました。



桜丘小学校前に集まった古着の山

回収量合計	12,220kg	桜丘小学校	6,430kg
	(約12トン)	笹原小学校	2,890kg
		宇山神社	2,900kg

回収量に応じて世田谷区と回収業者から助成金が支払われます。これは、まちづくり活動の資金として活用されます。

桜丘の歴史と風物シリーズ(第2回)

東京農業大学

桜丘一丁目の大半を占める東京農業大学は、旧幕臣の榎本武揚によって日本で初めて設立された私立の農学校で、農学を専門に扱う日本で唯一の大学です。戦前まで渋谷の常盤松にありましたが、空襲で罹災したため、昭和21年(1946年)3月にここに移転してきました。



ここ世田谷キャンパスは本部でもあり、3学部10学科と短期大学部があります。

東京農大が移転してくるまでは陸軍機甲整備学校でした。機甲整備学校とは、自動車学校・自動車整備学校のことで、校内には戦車などの演習のために坂路や穴など各種障害物が設けられたコースが建設された他、整備工場や研究所もありました。

ここには歴史を感じさせるものがあります。その一つが正門に掲げられている立派な「東京農業大学」の文字ですが、これは文化勲章も受けた版画家の棟方志功によるものです。

また、正門前にある大イチョウは100年程前に植えられたと言われており、かつては東京における紅葉の基準日を発表する基準の木とされていました。以前は左側にありましたが、昭和39年(1964年)の東京オリンピックの際に、世田谷通りの改修整備のために現在の場所に移植されました。

来年が創立120周年という節目であり、これからも地域に根ざした大学として大なる飛躍が期待されます。

「NPO 世田谷桜丘まちづくり」の会員を募集しています。

次の世代を担う子供たちの育成・いつまでも快適に住み続けられるまちづくりを目的に、様々な活動を通じてより良い街づくりを目指しています。

稲荷神社前のコミュニティサロンまでお申し込みください。

田中 律子さんのプロフィール

桜丘に生まれ育ち 19 歳まで桜丘に在住、笹原小学校から桜丘中学に学ぶ。中学校の頃から芸能界で活躍。タレント業のほか主婦であり母として多忙な身でありながら、地球環境の改善に取り組む NPO アクアプラネットの理事長を務め、ヨガのインストラクターでもある。ご両親は桜丘で美容院を経営、今は弟さんが後を継いでいる。



◇ 子供の頃の桜丘は？

昔は空き地がたくさんありました。今みたいに、たくさんの家やマンションがなくて、ドブ川があってそこで遊んだり、現在桜丘区民センターのある場所は広い空き地で、遊び場のお兄さんに教わって、ダンボールの家やタイヤのブランコを作ったりしました。

(生き生きと楽しい子ども時代を送っていたようです)

◇ 律子さんにとっての桜丘は？

桜丘は地元！っていう感じです。商店街の中でお店の人たちや町の人に声をかけられながら、安心して生活できました。近所のこわいおじちゃんやおばちゃんに怒られたこともあります(笑)。(今はこういう環境はなかなかないと、特に思い出深い様子でした)

商店街で特に記憶に残る店は『ブレンド』です。小学生の頃からよく行っていました。

そこでコーヒーの入れ方を初めて見ました。

(2代目がいなくて続かなくなる店が多い中で、昔からのお店を見るとほっとするとの思いがあるようです)

桜丘にはよく帰ってきます。桜丘の農家で新鮮な野菜を買って帰ります。おいしいですよ。キュウリも曲がっていたりして。

(毎日お子さんのために作っているお弁当の中にも桜丘の野菜が入っているかもしれませんね)

◇ タレント業のほかにやっていることは？

月に1回は沖縄の北谷の沖でサンゴ守るために潜ります。サンゴの移植をしに。始めてから5年経ちますが大分成長し増えてきました。

(律子さんは会員2,000名にもなるNPOアクアプラネットの理事長をしておられ、また、近々、ヨガのインストラクターとして教室を開く予定とのこと)

東京が梅雨入りした日に律子さんはNPO世田谷桜丘まちづくりの事務所であるコミュニティサロンまで足をはこんでインタビューに答えていただきました。タレント以外にも多彩な才能を生かして活躍されている、こんな素敵な桜丘出身の女性にこれからも声援を送っていきたいと思います。



水中サンゴ手持ちシーン

まちづくり賛助会員の紹介

NPO 世田谷桜丘まちづくりを支援していただいている賛助会員の皆様(敬称略)

桜丘地域に、事業所があり、私たちの活動に賛同し、日常の活動やイベントなどにご協力頂いています。

- | | | |
|---------------------|-----------|-------------|
| ☆ 世田谷信用金庫船橋支店 | ☆ 水道機工(株) | ☆ (株)ライステック |
| ☆ ミサワホーム東京(株) 世田谷支店 | ☆ 保田医院 | ☆ 伊藤内科胃腸科 |
| ☆ 東京土建組合けやき分会 | ☆ VIC 進学院 | ☆ 美容室ビューロード |